

平塚市行政改革推進委員会（事業評価）の結果について

区分	事業3			
事業名	教職員福利厚生事業		所管課	教育総務課
評価結果	事業内容の見直し			
評価内訳	現行どおり	事業内容の見直し	国・県	廃止
	0	5	0	1
傍聴者数	14	ネット中継 視聴者数	3	

※「傍聴者数」「視聴者数」は、開始後10分経過時点の状況を記載しています。

事業評価シートの記載内容

委員長	評価結果・視点	「事業内容の見直し」 - 「受益者負担」 - 「受益者負担の新設・増額」 - 「対象」 - 「対象者の拡大」 - 「その他（対象事項・事業・プログラムの見直し）」 ※「市民ニーズと合致してない」「目的に見合った効果が見込めない」という視点からも再検討が必要。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 公金を支出する以上、財政民主主義的観点、そして利用者の公平・中立性の確保は必然的に議論すべきと考える。 ・ このような問題は、既得権との議論があるが、既得権を温存している以上、行財政改革は進まないことを肝に銘じるべきと考える。
副委員長	評価結果・視点	「事業内容の見直し」 - 「対象」 - 「対象者の拡大」 - 「その他（健康維持等、補助内容にメリハリをつける）」
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診断などの福利厚生事業は充実すべきであるが、レクリエーションの互助会補助金は削減あるいは簡素化していく方がよい。広報紙なども必要ないのでは。
A委員	評価結果・視点	「事業内容の見直し」 - 「受益者負担」 - 「受益者負担の増額」
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 互助会への補助については、健康の維持管理に直接関係するものに限るべきである。よって、現行の補助額200万円については、半分の100万円程度まで圧縮すべきである。
B委員	評価結果・視点	「事業内容の見直し」 - 「受益者負担」 - 「受益者負担の増額」
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 互助会の福利厚生事業への補助金について、人間ドックや直接的な健康増進を目的としたものに移行していくのが望ましい。 ・ レクリエーションは、より純粋に楽しめる自己負担の企画とするのがよいのではないかと。会費による出産祝い金等の福利厚生は多少引き上げてもよいのでは。
C委員	評価結果・視点	「事業内容の見直し」 - 「その他（互助会への助成額の削減）」
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員互助会への市からの補助金は減額の方向で見直してほしい。 ・ ないとは思いますが、県・市の福利厚生事業で重複があれば見直してほしい。
D委員	評価結果・視点	「廃止」 - 「費用対効果がよくない」「目的に見合った効果が見込めない」
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の先生方の変革を考えると大切な支出だと思うが、今の時代、民間を含めニーズに合っていると見えない。健康診断等必要な費用は別途協議の中で財政部門と話していく方がよい。